

## 統計研修講義計画書

研修課程	統計専門課程 産業連関表の作成・分析	講義科目	産業連関表を用いた分析 事例	講義時間	5 コマ
講 師	下田 充 (株) 日本アプライドリサーチ研究所研究調査部主任研究員				

※1コマ70分

### 講義のねらい

地方自治体において最もニーズが高いと思われる、「経済波及効果分析」の考え方・手法について、最初は簡単な事例から出発し、最終的には実践が可能なレベルまで達することを目標とする。また、時間に余裕がある場合には、地域産業連関表を用いたシミュレーションを行う。

### 指導項目と内容

指 導 項 目	内 容
産業連関表の構造・予備知識	<ul style="list-style-type: none"> <li>「産業連関分析の基礎」で学んだ事柄と重複するが、移輸入の扱い方等、後の分析との関連で重要になる箇所を中心に、基礎をざっくりと復習する。</li> </ul>
経済波及効果分析 1 : 4 部門表による分析手順の説明と実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>経済波及効果分析の手順を 4 部門表により解説する。はじめに PPT による解説を行い、次に、エクセル上で同じことを行っていただくことで、全体の手順を理解する。</li> </ul>
経済波及効果分析 2 : 36 部門表を用いた実践的な分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>37 部門表を用いて、実践的な事例により分析を行っていく。支出項目と品目分類との対応、域内調達率の考え方等、重要なポイントを確認がてら、自ら分析シートを作成することで、実際に計算ができるだけのスキルも取得する。</li> </ul>
シミュレーション分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間に余裕があれば、産業連関表を用いた（域内調達率や移出入の変化に関する）シミュレーションを行う。</li> </ul>

講義形態 指導方法	講義およびパソコン実習
受講に必要な 基礎知識等	MS-Excel に関する基礎的な操作（文字および数式の入力、コピー&ペースト等）